

- ① 次のことがらの「逆」を答えましょう。また、それが正しい場合は○を、正しくない場合は×を書き、反例も書きましょう。

① $a < 0$ 、 $b < 0$ ならば、 $ab > 0$ である。

逆： $ab > 0$ ならば、 $a < 0$ 、 $b < 0$ である。

(×) 反例： $a = 3$ 、 $b = 2$ など

② a と b のどちらも奇数ならば、 ab は奇数である。

逆： ab が奇数ならば、 a と b のどちらも奇数である。

(○) 反例：なし

③ 2つの辺が等しい三角形は二等辺三角形である。

逆：二等辺三角形ならば、2つの辺が等しい三角形である。

(○) 反例：なし

④ a が偶数、 b が奇数ならば、 ab は偶数である。

逆： ab が偶数ならば、 a が偶数、 b が奇数である。

(×) 反例： $a = 2$ 、 $b = 4$ など。
